

ETFは世界中で6,000銘柄以上が上場され、機関投資家・個人投資家の双方に活用されており、その規模は3.3兆ドル（約337兆円）を超えています。

ETFは株式市場で株式のように取引される一方で、上場「投資信託」であり、投資信託としての資金の出入りが日々発生**しています。世界中で様々な投資家が利用しているETFの資金流入は、世界の投資家の動向を探る上でも有用な情報になると考えられます。

当レポートでは、世界のETFの資金流入の状況をまとめ、それらから見えてくる世界の投資家動向についてご紹介していきます。

*ETF(Exchange Traded Fund)のほか、ETN(Exchange Traded Note)、ETC(Exchange Traded Commodity)、ETI(Exchange Traded Instrument)等の上場金融商品を含みます。

**ETF独自の「設定／交換」と呼ばれる現物バスケットと受益権の受け渡しによりETFへの資金流入が発生します。（すべてのETFが現物での設定／交換を行うわけではありません）

2016年7月のETF資金流入

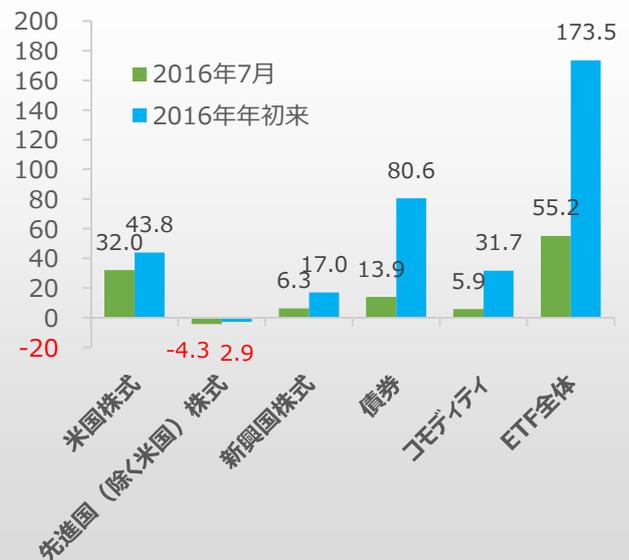
2016年7月はBrexitの影響の少ないカテゴリーを物色する動きが見受けられました。資金流入は552億ドルに上り、2014年12月以来、最も大きな資金流入となりました。

株式ETFは2016年で最も大きな資金を集め、341億ドルの流入となりました。特に主要指数が最高値を更新した米国株式ETFへの流入が目立ち、320億ドルの流入を記録、その内訳は大型株ETFに210億ドル、高配当株ETFに48億ドル、価格変動リスクを抑えた銘柄選定を行う最小分散ETFに14億ドルの流入となりました。新興国株式ETFは設定来で最も大きな82億ドルの資金流入を記録しました。

債券カテゴリーでは投資適格社債およびハイ・イールド債に流入が集中し、49億ドル、22億ドルの流入となりました。他のカテゴリーと比べてBrexitの影響が比較的低いとみなされた新興国債券ETFも39億円の流入となり、設定来で最も大きな流入を記録しました。年初来からの資金流入は107億ドルと、過去に年間で最も資金流入の大きかった2012年の83億ドルの流入記録を上回っています。（次項参照）

金ETFは32億ドルの資金流入となり、コモディティ全体に投資をするETFは13億ドルの流入となりました。

【世界のETFの資金流入（十億ドル）】

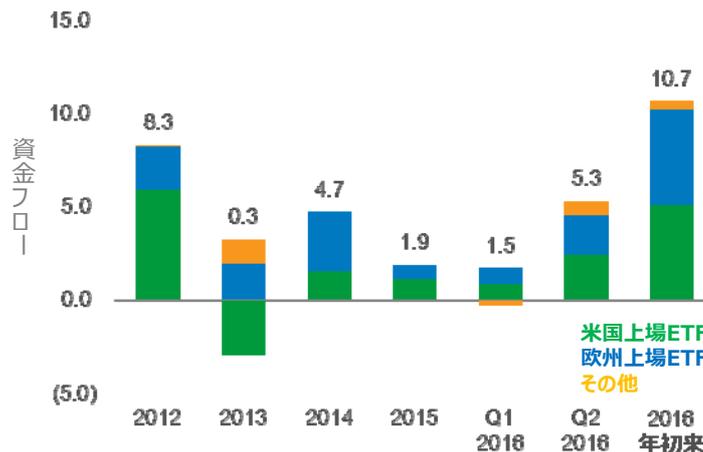


出所：「BlackRock Global ETP Landscape July 2016」

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。

ETFから見る世界の投資家動向

【新興国債券ETFへの資金流入（単位：10億ドル）】



出所：「BlackRock Global ETP Landscape July 2016」

新興国債券ETFは2016年に入り、同種のETFが初めて設定された2007年以来、最も大きな資金流入を記録しています。この投資カテゴリーは、低金利環境が継続する中、リスクをとって利回りを求める投資家の関心を集めています。以下に、新興国債券の動向を考える上で、市場・経済環境のファンダメンタルズのポイントを記載いたします。

- 1) Brexitによる世界経済の成長および米国の大統領選に対する不透明感から、米国の利上げの可能性が市場関係者間で後退し、ドル高懸念が以前と比較し和らいでいること
- 2) 7月のコモディティの価格は急落したが、1月の底値からは回復しており、回復基調にあること
- 3) 新興国経済の見通しは、比較的健全な成長性および企業の財務状況により改善傾向にあり、特に不安視されていた中国経済も落ち着きを取り戻し始め、人民元の動きも比較的安定していること

※新興国市場への投資を検討される際は、先進国市場と比べ政治的不安定等により株価変動がより大きく投資リスクが高くなる点にご留意ください。

ETFの主な投資リスクについて

ETFは投資元本および投資元本からの収益の確保が保証されているものではありません。連動を目標とする指数、組入れ有価証券の価格変動、金利及び外国為替の変動等の要因によりETFの価格は変動することから、投資者は損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

ETFの価格が変動する要因や変動の大きさは、各商品及び各商品が連動を目標とする指数等により異なります。優先株は金利上昇等により価値が減少する場合があります。また配当の支払いは保証されていません。満期到来、償還、繰上げ償還、転換などによってファンドの利回りの低下を招く場合があります。特定の地域や分野に特化した投資では、一般に変動が大きくなります。不動産投資信託（REIT）への投資は経済状況の変化や信用リスク、金利変動の影響を受けます。

手数料、費用等について

【売買時の手数料】 当ETFを売買する際の手数は取扱い金融商品取引業者（証券会社）等によって定められます。詳しくは取扱会社までお問い合わせください。【保有時の費用】 当ETFの保有期間中は運用管理費用等を間接的にご負担いただきます。保有時の費用の率（総経費率）は個別のETF/JDR毎によって異なり、また運用状況や保有期間等に応じて異なることからその上限額を示すことはできません。詳細は取扱い金融商品取引業者（証券会社）にてご確認ください。またiシェアーズのウェブサイト（<http://www.blackrock.com/jp/ishares>）にて当ETFに関する情報を開示しております。

iShares®
by BLACKROCK®

ブラックロック・ジャパン株式会社

iシェアーズ事業部 TEL 03-6703-4110（部代表） www.blackrock.com/jp/ishares
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第375号
加入協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 投資信託協会、日本証券業協会

当資料は情報提供を目的として作成されたものであり、特定の金融商品取引の勧誘を目的とするものではありません。当資料は当社が信頼できると判断した資料・データ等により作成しましたが、その正確性および完全性について保証するものではありません。また、当資料中の各種情報は過去のものであり、今後の運用成果を保証するものではなく、当資料を利用したことによって生じた損失等について、弊社はその責任を負うものではありません。さらに、本資料に記載された市況や見通しは作成日現在の当社の見解であり、今後の経済動向や市場環境の変化、あるいは金融取引手法の多様化に伴う変化に対応し、予告なく変更される可能性があります。